

平成24年度第4回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成24年11月8日(木) 午後2時～4時40分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：12名 傍聴者：2名
事務局：中央図書館長事務取扱教育部理事、館長補佐兼庶務係長、
館長補佐兼調査係長、花小金井図書館長、資料係長、仲町図書館長、
上宿図書館長

- 4 配布資料 資料は省略させていただきます。

5 議事

(1) 報告事項

① 職員の人事異動について(資料No.1)

10月1日付で教育委員会の人事異動があり、教育長が9月30日付で退任し、後任として前教育部長が教育長に就任した。教育部長に生涯学習及び体育の担当の教育部理事が就任し、その後任に中央図書館長が教育部理事として異動した。担当は生涯学習・体育・図書館となる。なお、中央図書館長事務取扱として引き続き図書館業務を担当する。

② 図書館運営状況について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.2)

(これまでの報告)

9月13日 市制施行50周年記念事業「郷土写真展」(~21日)

9月20日 図書館システムの更新及び蔵書点検のため休館(~30日)

10月 1日 「多摩六都図書館共通利用カード」の発行

10月16日 子ども文庫連絡協議会40周年記念図書館巡回展示
(~11月22日)

10月17日・24日 児童文学紀行講座「絵本で旅するスペイン」

10月22日 ブックリサイクル

10月30日 子ども文庫連絡協議会40周年記念講演会「読書ではぐくむ子ども
の想像力」池田正孝氏 中央図書館

11月 1日 大人のためのおはなし会 中央図書館

(今後の予定)

11月29日 児童文学講演会「子どもと絵本を結ぶ手ぶくろ人形」
高田千鶴子氏 大沼公民館

- 12月 6日 おたのしみ会（全館）（～19日）
- 12月 9日 「子ども教育フォーラム」の中で「調べて学ぼう！こいだいらっこコンクール」の表彰式
- 12月13日 音訳ボランティア説明会 中央図書館

③ 平成23年度決算特別委員会について

学校図書館協力員について2人の委員から質問があった。

第1点目は、学校図書館協力員についてどのように評価しているのか、という内容で、学校図書館協力員を配置したことにより、中学校では、開室日が増え、蔵書や部屋が利用しやすく整備された。小学校では、それに加え、授業に関連する資料を提供するなどして、児童生徒の利用が増えている。貸出総数や一人当たりの貸出冊数も増加し、学校図書館の活性化に効果があり評価していると答えている。

第2点目は、学校司書の配置をどのように考えているのか、という質問で、学校図書館に人がいることの効果は認識しているが、司書教諭の指示により活動している学校図書館協力員について、研修を充実させ、資質の向上を図ると答弁した。

④ 小平市の行政評価について（資料No3）

内容は、図書館事業の個々の事務事業に対する評価と施策レベルでの評価となる。平成22年度と違う点は、西部市民センター駐車場・自転車駐車場管理事業が新規事業として追加され、その反面、仲町図書館運営管理事業の休止、事業仕分けの結果を受け、逐次刊行物及びタウン誌の収集・整理・保存事業が廃止となった。評価として、各館の運営管理事業においては、震災による休館や開館時間の短縮の影響で、利用者数の減があった平成22年度に比べ、平成23年度は、例年並みの目標数に達したため、有効性が「A」及び「B」の評価となった。しかしながら、仲町図書館の休館に伴い、利用者数の減、また、受入れ資料数を抑えたことにより、仲町図書館運営管理事業及び地域資料の収集・整理・保存事業の効率性は「C」となった。さらに、障害者推進事業、障害者サービス事業では、郵便貸出数の減により有効性が「C」となっているが、平成24年度はデイジー図書の貸出開始、録音図書の利用拡大により、郵便貸出数が大幅に増加傾向となっている。

この報告書は、図書館、市政資料コーナーで閲覧ができ、販売もしている。また、市のホームページでも公開し、他課の事業も閲覧できる。

⑤ 市制施行50周年記念事業「調べて学ぼう！こいだいらっこコンクール」について（資料No.4）

市制50周年記念事業の一環として、小学生を対象に小平市への関心・愛着を高めるため、図書館資料を用いて調べた作品を募集した。応募は93点あり、審査の結果、

3・4年の部が最優集作品賞、優秀作品賞、奨励賞各1点。5・6年の部が最優集作品賞1点、優秀作品賞5点、奨励賞9点が決まった。受賞者については、12月9日に開催される「子ども教育フォーラム」で表彰を行う。また当日は、受賞作品をルネこだいらに展示し、その後、中央図書館でも展示する。

⑥ 市制施行50周年記念事業「郷土写真展」について

市制50周年記念事業の一環として、平成24年10月16日から21日までルネこだいら展示室で「小平をふりかえる～ひと・まち・ものがたり」をテーマに、公共交通の歩み、50周年記念映像の上映、市民まつりのポスター掲示と合わせて「郷土写真展」を開催した。そこで展示した134点の写真を図録にまとめた。写真展を通じて小平市の50年の歴史をたどりながら、まちの移り変わり、成長を振り返ってもらう企画で、開催期間中に、738人の方が来場した。図録は、市政資料コーナー、ふるさと村、分室を除く市内の図書館で販売しており、図書館では貸出、閲覧も可能である。

⑦ 図書館ホームページのリニューアルについて（資料No. 5）

今回のリニューアルについては、トップ画面の情報を整理して見やすくした。新しくハンディキャップサービス、テーマ別のブックリストを掲載した。昨年からはじめたメールマガジンも簡単に登録できるようにした。10月1日からのシステムリニューアルに合わせ、フリーワード検索や検索結果の著者名からその著者の著作リストへ展開できるようになった。また、予約カートとお気に入りリストを設け、利用者自身で読みたい資料の整理や、シリーズの順番を指定する予約ができるようになった。その他、サイト内検索や各図書館の案内地図をグーグルマップで、正確に見られるようになった。

⑧ 蔵書点検の結果について（資料No. 6）

今年度は6月に行わず、図書館システムの更新に合わせて9月20日から実施した。今回は図書館システムの更新と同時並行ということもあり、全館、開架書架のみの点検とした。結果としては、全資料数117万5千738点のうち、新規不明資料が2千264点と、昨年度に比べ708点増えている。また継続不明資料は、3千421点で1105点マイナスとなり、合計不明資料数では397点減っている。来年度は例年どおり6月に行う予定である。

⑨ 仲町公民館・仲町図書館建替えに係る解体・改築工事について（資料No. 7）

解体・改築工事の契約手続きを再度進めているため、工事の内容について報告する。997.77㎡の敷地に、地下1階、地上3階建て、建築面積356.185㎡、延

べ床面積1454.872㎡の建物を建築する工事及び、旧仲町図書館等を解体する工事である。工期は、平成26年9月30日までの予定。建物はそれぞれが独立して配置されることで、外部に開かれた通り抜けのできる空間を作り出している。1階にはエントランスホールと受付事務室、カフェラウンジ、調理や陶芸のできる多目的室がある。2階には、講座や読書室として利用する多目的室と、読書ラウンジがあり、西側スペースには授乳室を設けている。3階にはワンフロアの読書ラウンジのほか、東側にテラスを、西側屋外部分に冷暖房用屋外器設置スペースを設けている。なお、安全な避難経路を確保するため、1回カフェラウンジから2階の吹き抜け部分を通り3階の読書ラウンジにつながる階段をもう1か所設置している。屋上には、太陽光発電設備の設置や芝生による屋上緑化を行う。地階部分は主に公民館部分となっており、ホール、和室、学習室、保育室・おはなし室、また、図書館部分となる、事務室、閉架書庫がある。

前回の報告との変更点は、入札の状況から積算を見直し、経費を増額させるとともに、一方で地下部分の設計を見直し、経費の削減に努めた。具体的には、光庭を縮小し、トップライトに変更したこと、外階段、保育・おはなし室を移動させたことにより、各部屋の面積はほとんど変えずに、地下の面積を圧縮した。建物の外壁面には日射負荷の低減と近隣への配慮として、エキスパンドメタルスクリーンを設置する。1階から3階までの空間は、1階では離れて配置されている部屋が、2階部分では徐々に一体的になり、3階では大きなワンフロアとなり、少し閉じた空間や開かれた空間など様々な様相を作り出すとともに、上下階は、なだらかにつながる形態となっている。

建築工事請負契約議案を12月市議会定例会に提出するとともに、建築工事に流用した附帯設備工事費について、補正予算措置を予定している。今後の日程は、解体工事を平成25年3月頃から、建築工事を平成25年6月頃から平成26年9月30日まで行い、開館準備を経て平成26年度中のリニューアルオープンを予定している。

<報告事項についての質疑・応答>

委員：図書館ホームページのリニューアルで、利用者のパスワード登録は図書館に行かず、画面の中で登録することができるのか。また、蔵書点検の不明資料累計数が何年で消去され、何年間の累計になっているのか。

事務局：今までの図書館ホームページでは、パスワードの発行はできなかったが、利用登録している方であればパスワードの発行は図書館ホームページからできるようになった。また、継続不明資料は3年で消去される。

委員：新聞の投書にキッズタイムを設けてほしいという投稿があったが、そのような要望はあるか。

事務局：特にない。小平の図書館では毎月第1週に絵本のへやを開催しており、おはなし

室を開放してお母さんと子どもが本に親しめるようにしている。

委員：新規不明資料数が増えているのは、本が持って行かれたようなことか。

事務局：新たに不明になった本が増えた。原因ははっきり究明していない。今回開架部分のみ行ったが、閉架部分を含めたとしてもこの程度ではないか。日常、職員が巡回し監視はしているが、紛失はなくなる。しかし、しばらくして戻っていることもある。

委員：他市と比べて多いのか分からないが、あまり多いと市民の税金で買ったものを損失している、また、ブザーが鳴るような装置を設けたらという意見が出てくるのではないか。

事務局：ブザーが鳴るようなブックディテクション装置を導入している市はかなりある。導入すると確かに不明資料は減るが、経費がかかる。新仲町図書館には導入する予定なので、効果を見て各館に広げるか検討したい。

会長：新規不明図書については、今回、利用が増加する夏期を2回経過しているので若干増えたのではないか。黙って持っていく行為は大学図書館でも減らない。ブックディテクションは経費や場所の問題があるので、新仲町図書館の様子を見ていきたい。また、中央図書館の1階キッズコーナーは、ある程度自由に使わせているのではないか。

事務局：小平ではあまり制限していないが、ワンフロアのため、あまりにぎやかだと声をかけるようにしているが、比較的マナーはよい。

委員：中央図書館は、大人の空間と間があり、子どもたちが靴を脱いで自由に本を読んでいる。また、ブックディテクションは、過去にこの図書館協議会で答申を出したが、経費の問題でできていない。本来、図書館にはそのような物は置いてほしくないが、一部の本を持って行ってしまう人のためには、機械を入れるのもやむを得ない。

委員：ボールペンで線が引いてあった本を借り、後で気が付いたが寄贈図書であった。寄贈した人がチェックしたのかと思い、そのまま返却したところ、最初から汚損があったかと、職員に聴かれた。蔵書点検の際、汚損本をどのようにチェックしているのか。汚損本であれば、見返しに表示してほしい。返却した時の点検で、出入口まで追いかけられ、不愉快な感じを持った。

事務局：寄贈本も含め、本来最初に点検して、汚損等が発見された場合は表示を付けるようにしている。また、返却時にチェックし、表示がない本については、その場でお伺いしている。もし、本人が水に濡らしたとの申し立てがあれば、弁償の対応をしている。最近では書架にある本に書き込みをする例もあるように聞いており、防ぎにくく懸案となっている。蔵書点検は、1冊ずつバーコードを走査し、本が有るか無いか点検しており、本が汚れているかどうかは、返却時に点検している。

委員：「調べて学ぼう！こだいらっこコンクール」の表彰式は一般人も参加できるのか。

- 事務局：今回の子ども教育フォーラムは50周年を記念して、第1部で表彰が行われ、第2部は小・中学生の意見発表会となり、一般人も参加できる。
- 委員：子ども教育フォーラムは、小・中連携事業として、中学生が問題提起し、小学生も交えて意見発表するような形で進める予定である。
- 委員：こだいらっこコンクールの受賞者は小平第四小学校の生徒が多いが、これは玉川上水が近いからか。
- 事務局：広く募集したが、小平第四小学校は自由研究の課題としたため、多くの応募があった。
- 委員：玉川上水ではなく、野火止用水の応募はあったか。
- 事務局：テーマの1つとして玉川上水（小平の自然を含む）としたこともあり、野火止用水での応募はなかった。
- 委員：募集の時、図書館の蔵書を使ってと書かれていたが、そこまで規定する必要があったか。もう少し広く、近隣の図書館の本や自分の本などを使ってもよかったのではないか。
- 事務局：目的が小平の図書館の活用となっているが、小平市の便利帳やマップを使ったと明記してあるものは対象とした。ただし、出所が書いてないもの、また、内容的に自分の感想を書いたものは外している。
- 委員：優秀な作品について何かコメントはないか。
- 事務局：どんな形態でもよいとしたが、レポート様式が多かった。最優秀作品は、きちんと資料を明記し、概要・目的・何が分かったのか、また、所感がきちんと書かれていた。さらに文字だけでなく、写真や絵を描くなど視覚に訴えるものがあって分かりやすかった。
- 委員：こだいらっこコンクールにおいて、調べ学習の資料が多く利用された、あるいは、調べ方についての質問が多かったなど、図書館の利用状況はどうであったか。
- 事務局：期間中は、図書館の開架のブックトラックに調べ学習用の本を別置した。そこから借りる人や児童担当に問い合わせる人もいた。
- 会長：資料は中央だけに置いたのか。小平第四小学校の応募が多かったということは、津田図書館が利用されたのでは。
- 事務局：全館に置いた。津田図書館が多かったのは事実である。子どもだけでなく、大人が借りる様子も目に付いた。
- 会長：市制施行50周年記念事業の郷土写真展で、小平の歴史編さんに大人の方は、興味を持ったのではないか。また、こだいらっこコンクールのようなものは、次年度以降は行うのか。
- 事務局：こだいらっこコンクールに先駆け、2年前から調べ方教室を行っているが、これを続けたい。
- 委員：図書館ホームページのリニューアルについて、以前はトップページに簡易蔵書検

索を置いたが、今回はサイト内検索があり、簡易蔵書検索がなくなった理由は。

事務局：確かに簡易蔵書検索がトップページにある図書館が多い。今回は蔵書検索をする
と簡易検索へ移り、さらに詳細検索へと2段階かかる。

委員：携帯電話版の方は、早く蔵書検索に入れる。

事務局：以前の図書館ホームページでは、蔵書検索のボタンが目立たなかったため、今回は、目立つ左上に大きな蔵書検索ボタンを置いた。ホームページ自体、前回より色合いが変わって、はっきりと見やすく、子どものページも充実した。ただし、整理されているので、前より細かい部分が探しづらく感じられ、その点はサイト内検索を利用していただきたい。

委員：字の小さい部分が、子どもページにあり、読みづらいところがあった。

事務局：まだ目の届かない部分もあるため、できるところは改善していきたい。

委員：システム変更は、業者に任せると変なことになるので、気を付けてほしい。図書館が機種変更立ち会っていればよいが、業者だけで行うと変な方に行く。機種変更は便利なようだが、マイナス面を考えなくてはならない。また、仲町図書館の建替えは進んできているが、本来であれば図書館の建物は本の置き場なので、なるべく単純なほうがよい。四角四面の図書館は、量が入るのが、格好のよい図書館は量も入らず、無駄なスペースが多い。

委員：音訳ボランティアの募集は、障がい者サービス関係団体に知らせているか。

事務局：知らせている。

委員：仲町図書館の駐車場数と駐輪場数は利用者数に足りているか。

事務局：駐車場は敷地内に9台、以前借りていた隣地の5台分も借りられるよう交渉して
いきたい。駐輪場は45台確保し、実績からは賄えると考えている。

委員：公民館まつりで相当自動車や自転車が来る。

事務局：特別な行事の時は、近隣の場所を臨時に借りることも考えたい。

委員：今の仲町公民館敷地は売却か。

事務局：売却の予定である。

会長：特別なイベント時の駐車場・駐輪場は市のほうで委ねたいと思う。

委員：高齢者が自費出版で自分史や句集、写真集を発行した場合、出来上がった本を持ち込むような希望者はいるのか。

事務局：寄贈図書の中には、個人で出版された本もある。小平市内に住んでいる方であれば、大沼図書館に市内在住者の本を収集している。ただし、自費出版でも色々な内容のものがああり、すべてを蔵書に加えるわけではない。

委員：仲町図書館の地下の保育室・おはなし室は形が変わったが、狭くなっているか。

事務局：狭くはない。

委員：2階の乳幼児・児童書コーナーと、授乳室が離れているが、近い方がよいのではないか。

- 事務局：近ければ一番よいが、スペースの問題がある。実際はそれほどの距離はないため、今後の運用の中で使いやすい形を考えたい。
- 委員：授乳室はコンクリートなのか。使い易いように簡単に模様替えはできないのか。
- 事務局：単純にコンクリートの部屋にするものではなく、隔離したスペースを設ける予定である。最初はこの形で工夫ができるところで考えていきたい。
- 会長：本の配置、児童コーナーをどこにするかは、まだ図書館の中で考えられると思うので、様子を見ながら工夫ができるかどうか検討してほしい。
- 委員：花小金井図書館を見学した際、クリスマスツリーを作っていた。現在、ボランティアは中央図書館で活動しているようだが、中央図書館まで来ることが大変な方もいるので、他の図書館でも飾り物の手伝いなどボランティアを活用してはどうか。
- 事務局：色々な方の援助はありがたいので、連携して進めていきたい。お願いするには、きちんとした形で職員も対応に当たらなければいけないため、職員数の少ない地区館にボランティア担当を置く体制づくりができるか考えていきたい。
- 委員：図書館ホームページのトップページは柔らかい感じがするが、ウェブOPACに入ると冷たい感じがする。雰囲気が違うので、何か意図はあるのか。また、蔵書検索の下に小さい検索窓を置くことができるとした場合、お金をかけずに変更できるか。
- 事務局：簡単に直せる部分とそうではない部分がある。利用者目線の使いやすい形で、優先順位をつけながら利用者の要望に対応していきたい。今の意見もご要望として受け止めたい。また、画面の雰囲気が変わり違和感がある点については、ある程度、出来上がったものをベースにしているため、大きく変えることは難しいが、分かりやすさを第一に考え、意見をいただいた中で変えられるものは変えていきたい。
- 委員：図書館ホームページは以前と大きく変わっているが、業者が変わったのか。またサイトとウェブOPACの会社は同じなのか。
- 事務局：業者は変わり、部署は違うが、サイトとウェブOPACは同じ会社である。
- 委員：自宅のウェブOPACではログアウトがあるが、館内OPACにはログアウトがなく不安であることと、トップ画面に戻りづらい場合がある。また、お気に入り一覧や予約カートは個人のデータが入るが、図書館との関連はどうなっているのか。
- 事務局：現在は、画面の上部に今の位置が分かるようになっている。しかし、画面によって戻り方が違う場合があるので検証したい。また、お気に入り一覧は、自分のパソコンで利用者IDとパスワードを入力して、利用者が管理するところなので、図書館からは見えない。予約一覧は図書館側でも確認はできる。
- 会長：業者のサーバーに各自のポストがあるという形ではないか。

委員：平櫛田中美術館の資料を10月から整理している。資料の状態によっては、重要文化財にあたる貴重な本が出てくるであろう。整理にはあと3年くらいかかるが、図書館の蔵書になるようなものもあり、整理の後、展示等もできるのではないか。

会長：ウェブの件については、使っていく中で、気が付いたときは図書館に連絡をお願いしたい。

(2) 協議事項

なし

(3) その他

事務局：今回の図書館協議会委員の任期は今年度までで、来年度はまた新たな任期として、公募委員を12月20日号の市報で募集する。